

臨場感溢れる豊サイズ写真 二人展

藪利臣 連絡先:090-3359-7000 ja3bfl@eva.hi-ho.ne.jp

藪利臣のテーマ:奈良の美景 カメラ:4×5大判カメラ+デジタルスキャニングバック(米国 BetterLight 社製) 1億画素の世界

テーマへの思い:奈良には自然の原風景が多く残っている。四季を通じ自然の美術館のようだ。この素晴らしい自然を高精細でスケール感のある大きな写真に撮り、後世に残したく思う。プロフィール:写真家/

No	題名/撮影場所	見どころ	No	題名/撮影場所	見どころ
①	 <p>山里の詩/天川村</p>	<p>待ちに待った春が来て、どこからか木々の歌声が聞こえるようだ。</p>	⑦	 <p>天武の祈り/橿原市</p>	<p>天武天皇が皇后の病氣平癒を願い薬師寺を建立し、このような夕景でお祈りしたのでしょう。</p>
②	 <p>三つ葉の輝き/中奥</p>	<p>皆が新緑の中でピンクの容姿が輝いている。間もなく三つ葉で新緑の仲間入り。</p>	⑧	 <p>サンギリ展望/上北山村</p>	<p>椽谷西の谷林道には大峰奥駈展望の特別指定席があった。</p>
③	 <p>群青ランド/川上村</p>	<p>新緑の10日ほどは美しい群青色の世界になる。水も一緒に応援してくれている。</p>	⑨	 <p>岸壁のページェント/曾爾今井</p>	<p>山地は室生火山群に属し、秋には険しい斜面の岩肌が野外劇場に変身する。</p>
④	 <p>雨の詩1/大台ヶ原</p>	<p>雨の中、まっすぐな木々が1本の曲がった木の噂話をしているようだ。</p>	⑩	 <p>天井の情熱/御所市</p>	<p>曼珠沙華は慶事が起こる時に赤い花が降ってくると云われており、この場に立つと何か良いことが起こりそうだ。</p>
⑤	 <p>雨の詩2/大台ヶ原</p>	<p>木々や苔むした岩たちが雨上がりの挨拶をしているようだ。</p>	⑪	 <p>正成の想い/御所市</p>	<p>金剛山周辺は楠正成の城であり、波乱万丈の正成はこの雪景色で何を考えたのだろうか？</p>
⑥	 <p>縄文に想う/笠</p>	<p>蕎麦は縄文時代の遺跡から種が見つかっており当時の原風景が偲ばれる。</p>	⑫	 <p>早春/月ヶ瀬</p>	<p>梅林は明治に衰退し他の作物に植え替えられたが逆境に耐え抜き花を咲かせた梅を褒めてあげたい。</p>

臨場感溢れる畳サイズ写真 二人展

中田勝康 連絡先:090-4812-3052 knakata811@yahoo.co.jp

中田勝康のテーマ:日本庭園の宗教性・多様性

カメラ:Canon EOS 5D Mark II 24-105mm

テーマへの思い:日本庭園は宗教的背景があるので奥深い、一方豊かな自然を背景とした多様な造形が魅力です。

プロフィール:会社卒業後に日本庭園の撮影と著述、文化財指定に没入。著書『重森三玲 作庭の全貌』 <http://muso.to/>

No	題名/社寺名(場所)	見どころ	No	題名/社寺名(場所)	見どころ
13	 現代の枯山水/岸和田城(岸和田市)	重森が諸葛孔明の陣構えにヒントの庭。大将陣を八陣が守る造形で広大な庭を分散と統合を図る。	19	 神々の遊び/松尾大社(京都市)	重森の遺作となった当庭は当社の磐座を象徴した造形だ。まさに神々の自由な境地を示している。
14	 現代の龍安寺/興禅寺(木曾福島町)	木曾の山中に現代の龍安寺が出現。溢れる自然美と人工美の好対照こそが、人工の造形を際立たせる。	20	 阿弥陀三尊の出現(遠照寺・伊那市)	東山の山畔を活かした三尊石組の造形は日の出とともに後光が差すような風景に一変した。
15	 打ち寄せる海波(住吉神社・篠山市)	住吉神社の海洋の神であることを象徴した海波の造形は現代に相応しい斬新な創作庭園である。	21	 難関に挑戦する鯉魚/苔寺(京都市)	碧巖録の故事を視覚化した造形。一段目の滝を登り切り二段目の滝に挑戦する鯉魚の姿が躍動的。
16	 煌めく青石(久保家・伊丹市)	個人庭園に重森は須弥山と蓬莱山の雄大なテーマに相応しい豪華絢爛の石組みを造形した。	22	 龍安寺の先駆け/常栄寺(山口市)	雪舟の作庭した斬新な構図である。即ち遠近法であり、立石と横石の陵角が鋭く、龍安寺の先駆けだ。
17	 色彩の立体絵画/石像寺(丹波市)	道教の四神相応に基づいて作庭されたので、青龍、白虎、朱雀、玄武の造形と色彩された斬新な庭。	-	 23悠久の時/東海庵(京都)	北極星を中心として永遠に輪廻する坪庭の傑作。
18	 新緑に青石の輝き/能善寺(京都市)	逆光の新緑に雨上がりの豪華な青石が輝き慌ててシャッターを切りました。絢爛豪華な石組みに感嘆した。	-	 24緊迫の場(龍源院/京都)	極小空間に緊迫の空気が張り詰める現代枯山水の白眉。

